

速報 立山10号

津島北高校

畑澤聖悟 作

津島北高校演劇部 潤色



「ジンコちゃんの世界」

○幕間討論

演出意図

いつも誰かのための作品を作っていて震災から8年の今、何ができるかを考えてこの作品を作った。

Q.最後のシーンで男性のキャストが出てきたのはなぜか？

A.男性キャストは魚で弱肉強食を表現したのち、最終的に分解され同じになることを表すため。

Q.ミジンコなど役の動きはどう決めたのか？

A.実際に飼育して観察したり、動画を見たり本を読んだりして研究した。

Q.皆が前髪を上げていたのはなぜか？

A.表情を見せるためと個性を消すため。

Q.最後の休眠卵のシーンのサスがたくさんあるように見える照明はどうやったのか？

A.穴をあけたアルミホイルを照明に入れた。

○客席インタビュー

- ・演者の表現力と努力に脱帽。
- ・個人の演技や演出から高度なテクニックが感じられた。
- ・登場するキャラクターの無個性さを出すための動きの統一が完成されていた。
- ・ストーリーや演技から生と死の深さを実感できた。
- ・音響がなく、迫力があつた。

○あらすじ

サチコは母、妹、おばあちゃんと暮らしていた。サチコは生物の成績が赤点のため、先生から瓶の中のミジンコの観察を強いられる。そしてサチコに同じ生物赤点組のナオという友達ができる。その頃瓶の中では、ミジンコのジンコとミドリムシのミドリが出会い友達になる。ジンコはミドリと共に光合成を行うがうまくいかず、空腹でミドリを食べてしまう。しかし、ミドリは細胞分裂してジンコの目の前に現れる。またゾウリムシのゾーリーが現れ、ジンコは彼らをミドリと同じく食べてしまう。するとジンコは単為生殖で子供を産み、子供から子供が続々と生まれていく。とうとうジンコに寿命が訪れ、自然の決まりによりワムシに食べられてしまう。

サチコはそんなミジンコの物語をレポートに書き、先生に提出した。

「赤点とったの、あなた一人なのよ」

サチコは誰もいない家に帰る。

「あんなに大好きだったお母さんも妹もおばあちゃんも、あんな簡単に死んじゃった。」

津島北高校の皆さん、

お疲れ様でした！